データアナリティクス

アナリティクス エクスペリエンス を刷新

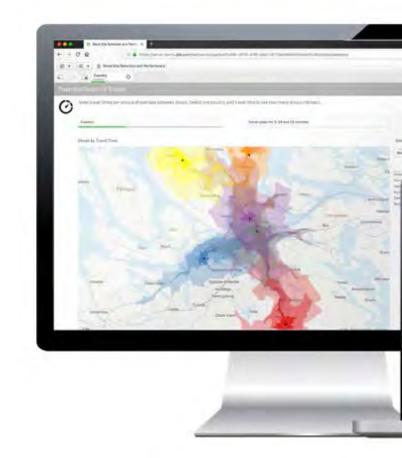
Qlik Sense®と QlikView®



Qlik は先駆者です。これまで Qlik が推進してきたのは、ビジネスインテリジェンス (BI) 市場における、大規模かつ IT 主導型のスタックに基づいたテクノロジーから、より俊敏なデータディスカバリーアプローチへの移行です。現在、Qlik 独自のクラウドベースのアナリティクスプラットフォームでイノベーションの第3の波をリードしながら、総保有コストの劇的な削減に貢献しています。

Qlik の代表的な製品である QlikView は、データアナリティクスに革命を起こしました。スタック技術に依存せずに高度な対話型ダッシュボードとアナリティクスアプリを迅速に作成できる QlikView は、即座に受け入れられ、お客様のビジネス上の問題を解決しました。そして 20 年以上にわたり、あらゆる形態や企業規模のお客様に、産業や地域の枠を越えて多大な価値をもたらしてきました。

2014年には、Qlik Sense を発表し、革命をさらに進めました。Qlik Sense は、セルフサービスビジュアライゼーションと探索から、ガイド付きアナリティクスアプリとダッシュボード、組み込み型カスタムアナリティクス、会話型アナリティクス、モバイルアナリティクス、モバイルアナリティクス、サリティクスの使用例をサポートで成に至るまで、組織全体のアナリティクスの使用のアナリティクスの使用のアナリティクスに関する総保有コスト(TCO)を大幅に抑制します。連想探索と拡張知能機能を組み合わせた Qlik Sense は、あらゆるタイプのユーザーのデータリテラシーを強化します。



Qlik Sense と QlikView 戦略

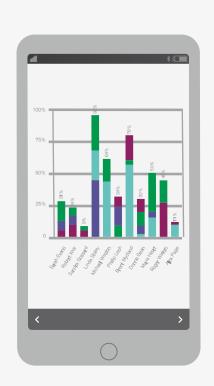
Qlik Sense と QlikView の両方の中核を成すのは、Qlik 連想エンジンです。このエンジンは、インタラクティブな自由形式の探索と分析を主眼として設計されています。クエリベースのツールでは柔軟性に限界と盲点が生じますが、それとは根本的に異なる Qlik のエンジンは、サポートするデータ情報源の組み合わせにほぼ限界がないため、データの取りこぼしが発生しません。また、ユーザーはインタラクティブな選択や検索などを使って、制約や制限なしに自由にデータを探索することができます。Qlik の連想エンジンは、すべてのオブジェクトがコンテキスト内に保持され、分析内の関連性のない値が維持されるため、予期せぬインサイトを発見し、クエリベースのツールでは見逃されていた隠れたインサイトを明らかにします。これが Associative Difference® と呼ばれるものです。

QlikView と Qlik Sense は

何が違うのか

Qlik Sense は、新しいバージョンの QlikView ではありません。両製品は、Qlik 連想エンジンをベースに構築されています。主要機能も似ていますが、Qlik Sense の設計と製品戦略には最新テクノロジーと顧客や市場の要件、標準の進化が反映されています。

Qlik Sense は、最先端のレスポンシブなユーザーインターフェースにより、最新のセルフサービス指向のクラウド機能をフル活用することができます。アナリティクスのライフサイクル全体をサポートし、標準的なスキルだけでカスタムアプリケーションを開発したり、オープン API によるアナリティクスの組み込みが可能です。一方、QlikView は、QlikView 特有のプログラミングスキルが求められるオンプレミス開発環境で、インタラクティブな分析アプリケーションおよびダッシュボードを構築、展開することができます。



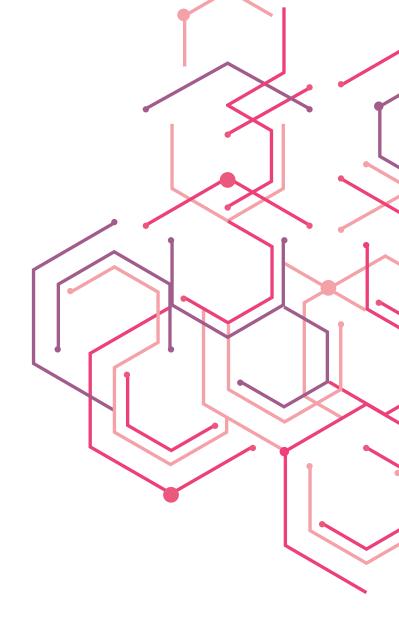
Qlik Sense で アナリティクスの 可能性を広げる

製品	Qlik Sense®	QlikView®
クライアント		
統合された HTML 5 クライアント	X	Х
タッチユーザーインターフェース	Х	
レスポンシブデザイン	X	
プラットフォーム		
広範なデータ接続	Х	Х
データ統合 - ETL	Х	Х
ビッグデータ機能 - インデックス作成	Х	
広範なエコシステムとコミュニティ	Х	Х
開発		
コンテンツの共同開発	Х	
アプリの開発 - オープン API	Х	
セルフサービス [App] の作成	Х	
セルフサービスのデータ準備	Х	
高度なオーサリング	Х	
デスクトップ開発	Х	Х
オフライン開発	Х	Х
サーバーサイドの開発	Х	
アナリティクス		
連想探索	Χ	Х
検索ベースの分析	Х	Х
最新のビジュアライゼーション	Х	
ガイド付きアナリティクスアプリ / ダッシュボード	X	Х
高度なアナリティクス統合	Х	Х
拡張知能		
コグニティブエンジン	Х	
自動生成(チャートとインサイト)	Х	
会話型アナリティクス	X	
機械学習と適応性	Х	
コラボレーション		
コラボレーションハブ	Χ	
データストーリーテリング	Х	
管理されたレポート作成	Χ	Х
モバイルオフライン	Х	Х
展開		
一元管理	Х	Х
統制されたライブラリ	X	
ルールに基づいたセキュリティ	Х	
SaaS 展開オプション	Х	
連想インデクシングエンジン	Х	Х

どちらを選ぶべきか

初めて利用する場合、または新たな使用例で活 用するなら、Qlik Sense をお勧めします。Qlik Sense は、完全にクラウドを基盤にした最新の 次世代アナリティクスプラットフォームとして 最適な選択肢です。拡張アナリティクスと連想 アナリティクスを実行できる上、総保有コスト を劇的に削減することができます。Qlik Sense Enterprise SaaS を使用すれば、わずか数分で展 開することができ、セキュアなアクセス権と統 制された環境で、即座にインサイトを提供しま す。また、Qlik Sense は AI を活用したインサイ トの提案、自動化、会話型アナリティクスによっ て、人間の直観力を拡張および強化します。Olik は、今後も Olik Sense プラットフォームへの積 極的な投資を継続しつつ、製品全体のイノベー ションを計画的に進めていきます。

Qlik 製品と今後のイノベーション戦略の詳細に ついては、Qlik の<u>方針声明</u>をご確認ください。



既に QlikView を利用している場合

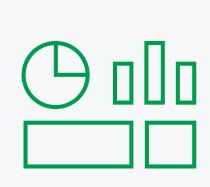
Qlik は QlikView をご愛顧いただいているお客様のサポートと、クラウドでのアナリティクスの刷新を支援してまいります。既存のアプリケーションや使用例で引き続き QlikView をご利用いただけます。 Qlik は、引き続き Qlik のクラウドハブでのアプリケーション利用機能の拡張、 Qlik Sense との共存性の向上、現状のプラットフォームサポートの継続など、ビジネスの目的を達成するための機能の提供に重点を置き、 QlikView への投資を継続していく予定です。

新たな使用例に最適なのは、Qlik Sense を既存のQlikView 環境に追加することです。どちらの製品も連想エンジンで実行されるため、データモデル、QVD、アナリティクス数式などの既存のデータ資産を容易に再利用できます。Qlik では、両製品の共存性を高めるために、よりシームレスな製品の統合に多くの投資を行っています。たとえば、単一のユーザーID、共通のライセンス管理、両製品を利用できる単一のハブ、QlikView から Qlik Sense への移行サービスなどです。また、ガイド付きアナリティクスアプリ向けの高度なアプリケーション機能に対応するために、Qlik Sense の高度なオーサリング機能の強化にも取り組んでいます。

お勧めの刷新プログラム

QlikView をご利用中のお客様には、QlikView を利用しながら、よりシームレスかつコスト効果の高い方法でクラウド上に Qlik Sense を導入することができる、非常に魅力的なプログラムをご用意しました。アナリティクスモダナイズプログラムでは、QlikViewのユーザーが追加の投資をすることなく、Qlik Sense Enterprise SaaS を利用することができます。クラウドで Qlik Sense を使用することで、大きなビジネス価値をもたらし、Qlik 製品の利用オプションを拡大し、製品全般をさらに的確に管理できるようになります。たとえば、Qlik のクラウドハブ内で QlikViewと Qlik Sense を並行利用する新たな機能を利用して、Qlik 製品間でシームレスに移行することができます。

アナリティクスモダナイズプログラムの詳細については、 α ampquestions@qlik.com または α Qlik α パートナーにお問い合わせください。





Qlik について

Qlik が描くビジョンは、すべての人がデータおよびアナリティクスを使用してより良い意思決定ができ、非常に困難な課題を解決できる、データリテラシーに富んだ世界です。Qlik は、データ、インサイト、アクション間のギャップを解消するエンドツーエンドのリアルタイムのデータ統合・アナリティクスクラウドプラットフォームを提供しています。データをアクティブインテリジェンスに変換することで、意思決定の質を向上し、収益および利益性の向上や顧客との関係性の最適化を実現することができます。Qlik は、世界 100 ヶ国以上、50,000 社以上の顧客に向けて事業を行っています。

glik.com